

次世代  
ふちのベ  
ニュース  
Vol.6

まちづくり、公共施設、公園の分野に分かれて、  
課題・解決に向けたアイデアを考えました！

「第5回次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」を、8月31日(土)に開催しました。

当日は、まちづくり、公共施設、公園の分野に分かれて、現状把握して出された課題・解決のキーワードを共有し、解決に向けたアイデアを出すことを目標に、各テーマについてグループワークを行いました。最後に各グループの発表と質疑応答を行い、有識者協議会の先生方からの講評をいただきました。

次世代に向けて市民検討会で考えたアイデア！！

【まちづくり WG】

まちづくりの観点から現状分析し、  
課題解決のためのアイデアを出しました！

現在の、歩きと自転車中心の生活に便利なまちを維持しながら、高齢化等の将来のニーズを見据えた交通手段などを確保したい。  
鹿沼公園をはじめとした自然を保全しながら、景観や安全・安心、バリアフリーなどに配慮したまちにしたい。  
生活利便性について、青少年学習センターまで含めるのは無理がある。  
もし移設するなら矢部の子どもの居場所機能を用意する必要がある。



グループワーク  
ではこんな意見  
がありました☆



【公共施設 WG】

各公共施設の課題を現状分析し、  
公共施設をよくするためのアイデアを出しました！

市立図書館

使用目的が自由な有料ワーキングスペースの導入。  
蔵書量と読書空間の充実。  
親子で気軽に利用できるカフェが欲しい。

大野北公民館・青少年学習センター

防音室や音楽ホールの新設や拡張。  
フロアが狭いため拡張や新設もしくは複合化の実施。

大野北まちづくりセンター

書類発行待ちの利用者が気持ちよく過ごせる場所が必要。

公共施設全体に共通するアイデア

修繕では新しいニーズに対応できない。  
会議室の空き状況のオンライン管理など、ICT 技術を活用した利便性向上や省力化。  
利用者や利用目的を意識した、子どもから大人まで交流できるような空間づくり。

自転車駐車場

駅近くにあったほうが嬉しい。

国際交流ラウンジ

図書館と統合すると、サービスが向上しそう。  
災害に備える意識が薄い外国人の方のために防災機能を持たせよう。

あさひ児童館

庭がないため、学童保育の機能を持たせて鹿沼公園へ設置。

『効率的+楽しそう』  
で考えてみよう♪



さがみん

【公園 WG】

公園が持つ一般的な機能をもとに分析し、  
さらに機能を向上させるためのアイデアを出しました！

周辺環境との関係をより良くするために、公園の外周の見直しを行い、避難ルートや自転車ルート、園内の見通しを確保する。  
オープンスペースの確保や防災機能を備えたカフェを設置し、コミュニティ形成の促進を図りつつ、防災拠点(避難場所)にする。  
環境維持のため、白鳥池は水質改善をしながら、すでにある施設の質を向上させて残す。

子育て、教育環境向上のため、交通公園は形を変えたとしても残し、また、自然を活かした遊具広場として児童館を公園の中に設置する。  
文化伝承のため、SLの「D52」やでいらぼっち伝説は公園のシンボルとして残す。  
駐車場を地下に設置して上部は建物にする。  
野球場を多目的に利用できるようにして、健康・レクリエーションの空間にする。

## 有識者協議会の先生方から講評をいただきました！

淵野辺に対する満足度が高いことは、話し合いや全体の発表の中で感じたが、総論は良くても各論にはまだ課題が残されている。例えば、商業も住宅も今のまま守ってほしい、安定したまちと意見が出されているが、安定とか現状維持は難しく、放っておけば衰退してしまう。今回も、まちづくり、公共施設、公園の分野に分かれて話し合いをしてきたが、特に公共施設と公園のグループでは、アイデアがたくさん出てきている中で、まち全体のコンセプトに近いものまで見え隠れしてきている。

次回以降は、今後の市民検討会の進め方や、今回のアイデアに基づいて次世代につながるまちづくりについて委員みんなで話し合ってみましょう。

## 学生さんたちによるワークショップを開催しました！

9月4日（水）に市のインターンシップ実習生によるワークショップを開催し、『淵野辺駅南口周辺の老朽化した公共施設をどのように改善し、次世代に引き継ぐか』をテーマに議論しました。

次世代を担う若者の意見がたくさん出されました。



### 【施設を見てみよう】～鹿沼公園～

鹿沼公園の開園は昭和 45 年ですが、この昭和 40 年代から 50 年代にかけては多くの公園が整備された時期であり、その中でも鹿沼公園は市内公園の代表的な公園となっています。

鹿沼公園が整備される以前は、この付近は、葎（あし）が生い茂る沼地で「かぬま」といいました。巨人「でいらぼっち」の足跡が沼になったという言い伝えがあります。

「かぬま」の雰囲気を人工的に再現したのが、現在の白鳥池となっており、周辺にはソメイヨシノやアジサイが植えられ、春から初夏の開花時期には池の水面に映る風景も相まって、多くの市民が訪れています。

園内には他にも、児童交通公園、テニスコート、軟式野球場などの施設があります。児童交通公園は市内に唯一の施設で、実際の道路や信号機を模した走路があり、豆自動車やミニカートで遊びながら交通ルールを学べるもので、多くの子どもたちの利用でにぎわう施設となっています。

来年には、開園から 50 年を迎えることとなりますが、市民の皆さまに一層愛される公園となるよう取り組んでいきます。



【お知らせ】10月14日（月）・15日（火）に、これまでの市民検討会の内容などを市民の皆さまに紹介するため、淵野辺駅周辺でパネル展示や簡単なアンケート調査を行うオープンハウスを開催します。

詳細は、広報さがみはら（9月15日号）をご覧ください、お気軽にご参加ください。

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/1015393/index.html>

市民検討会は公開で開催します。傍聴を希望される方は、詳細を市ホームページ等でご確認の上、お越しください。



次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は...

【公園について】 環境経済局 環境共生部 公園課（電話：042-707-7022）

【まちづくりについて】 都市建設局 まちづくり計画部 都市計画課（電話：042-769-8247）

【公共施設について】 教育局 生涯学習部 生涯学習課（電話：042-769-8287）

E-mail：jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp